

6月議会

有 ありた 議会だより

2014 No.31 平成26年7月31日発行



▲チャレンジマインド教育講演会で古川康佐賀県知事、堀義人グロービス経営大学学長の講演を聴講する曲川小学校の生徒達



日本磁器誕生・有田焼創業400年
The Birth of Japanese Porcelain: Arita Ceramics 400th Anniversary

有田町では2016年に有田焼創業400年を迎えます。

新体制で議会発信！

新議会の構成決定 2p

一般会計 83億7,153万円を可決 3p

15人の一般質問 これからの町制を問う 7p～21p

新議会の構成決まる

議長に松尾文則氏 副議長に梶原貞則氏を選出

任期満了にともなう有田町議会議員選挙が4月13日、有田町長選挙と同時に行われました。今回の町議選には、16議席に19人が立候補する選挙戦となりました。その結果、現職11人、元職2人、新人3人の議員が誕生して、新しい議会が構成されました。

4月22日に議会の構成を決める臨時議会が開かれ、議長に3人、副議長に2人の立候補があり、それぞれ無記名投票の結果、議長に松尾文則氏、副議長に梶原貞則氏を選出しました。併せて、3つの常任委員会委員、議会運営委員会委員と組合議会議員の選出を行いました。

その後、6月定例会において、議会選出の監査委員及び特別委員会委員を選任しました。



議長 松尾 文則

略歴
昭和36年4月2日生
平成15年8月 町議初当
平成22年4月 総務委員長
平成24年4月 議長



副議長 梶原 貞則

略歴
昭和32年7月26日生
平成15年4月 町議初当選
平成22年4月 産業建設
常任委員長

委員会構成

<p>委員 副委員長 委員長</p> <p>池田 榮次 蒲原 多三男 久保田 俊均 松永 俊和 今泉 藤一郎 浦川 友郎</p> <p>議会運営委員会</p>	<p>委員 副委員長 委員長</p> <p>浦川 友喜 金武 川男 立部 康男 古賀 正則 久保田 四朗 伊保田 均</p> <p>産業建設常任委員会</p>	<p>委員 副委員長 委員長</p> <p>梶原 貞則 今泉 藤一郎 福島 日人 松尾 佳昭 蒲原 多三男</p> <p>文教厚生常任委員会</p>	<p>委員 副委員長 委員長</p> <p>松永 俊和 原田 文則 手塚 英樹 池田 榮次 藤田 誠一郎 松尾 文則</p> <p>総務常任委員会</p>
<p>議会選出監査委員</p> <p>金武 康男</p>	<p>伊万里有田 消防組合議会議員</p> <p>松尾 文則 原田 一宏 今泉 藤一郎</p> <p>久保田 均 浦原 多三男</p> <p>松尾 文則 原田 一宏 松永 俊和 古賀 正則 四郎</p> <p>伊万里有田地区 衛生組合議会議員</p> <p>松尾 文則 松尾 佳昭 松尾 貞則 今泉 藤一郎</p>	<p>伊万里有田地区 医療福祉組合議会議員</p> <p>松尾 文則 松尾 佳昭 松尾 貞則 今泉 藤一郎</p> <p>一部事務組合</p>	<p>議会広報発行特別委員会</p> <p>松尾 文則 原田 一宏 立部 康男 手塚 英樹 福島 日人 久保田 均</p>

6月の定例議会

平成26年度一般会計83億7153万円に

平成26年6月議会は、6月9日から20日まで12日間の会期で開催された。平成25年度土地開発公社会計決算、平成25年度有田町一般会計繰越明許費繰越計算報告、公営企業等事業会計決算認定4件、条例制定1件、条例改正2件、条例廃止1件、規約変更1件、平成26年度一般会計補正予算及び平成26年度有田町国民健康保険特別会計補正予算、平成26年度有田町介護保険特別会計補正予算を慎重審議した。

平成26年度一般会計補正予算の主な事業は下記の通りである。今回の補正額は5億3,523万円の増額で、補正後の予算額は83億7,153万円となり、上程された議案すべて賛成全員で可決した。

(単位:千円)

主 な 事 業 名	事 業 内 容	補正額
中学校ユニバーサルデザイン推進事業(新規)	多目的トイレ設置工事 他	8,665
身近なユニバーサルデザイン推進事業(新規)	観光トイレ洋式化工事 他	7,097
有田町“新生”まちづくり事業(新規)	まちづくり戦略会議委員委員報酬 他	940
地域人づくり有田町情報発信事業(新規)	有田町情報発信事業委託料	13,490
観光公園駐車場整備事業(新規)	泉山石場前駐車場整備、唐船城駐車場整備 等	60,000
放課後児童教室建設事業(新規)	曲川小学校よいこの教室増築工事 等	8,541
保育緊急確保事業(認定こども園事業)(新規)	認定こども園事業費補助金	14,028
保育士等処遇改善臨時特例事業(新規)	保育士等処遇改善臨時特例事業費補助金 他	10,840
保育緊急確保事業(一時預かり事業)(新規)	一時預かり事業補助金	7,579
住宅用太陽光発電システム設置費補助事業	住宅用太陽光発電システム設置費補助金	3,040
リサイクルプラザ運営事業	精密機能検査委託料 他	2,780
活力ある結いの里づくり事業	活力ある結いの里づくり事業補助金	1,897
国見湖畔公園管理事業	トイレ解体整備工事費	1,556
農業農村振興整備事業(新規)	農業農村振興整備事業	3,740
森林病虫害等防除事業(新規)	森林病虫害等防除委託 松くい虫調査委託 他	1,789
森林環境保全直接支援事業(新規)	森林環境保全整備事業業務委託料 他	8,060
商工振興総務管理事業	商店街空き店舗等活用事業補助金	2,000
振興資金貸付事業	中小企業融資資金緊急利子補給補助金	7,000
伝統的工艺品全国大会費(新規)	全国大会負担金 他	5,110
有田駅を活用した情報発信事業(新規)	有田駅2番ホーム明かり設置工事負担金	1,462
道路橋梁新設改良事業	調査委託料、町道改良工事、用地購入費 他	16,070
有田町住宅リフォーム助成事業	住宅リフォーム助成事業補助金	2,500
消防団確保対策事業(新規)	トランシーバー購入費、消防団募集CM放送	2,658
歴史と文化の森公園管理事業	施設修繕費、膜屋根点検委託料 他	5,033
史跡等買上事業(新規)	天狗谷窯跡土地購入費、家屋移転補償費 他	56,233

総務常任委員会

総務に関すること、他の委員会に属しないこと、全般について審議します。

(委員会構成議員 6人)

委員長 松永 俊和
副委員長 原田 一宏

▼平成26年有田町一般会計補正予算第2号

藤委員 新規有田新生まちづくり事業の内容は、

まちづくり課長 今町では400年推進事業を含め大型事業が進行している。町全体で事業の進捗管理を行い、今後の課題に取り組む事業である。

まちづくり事業の方針や考えを、民間を含め15人委員に諮問しアドバイザーや意見の提言を受け、複数課で連携しチームを組み各課が横断的に体制を作る。役場内の改革、住民と共に公有財産の処分・整理・施設統廃合などまちづくり事業と連携し行う。詳細を検討している。

池田委員 3月の予算で有田焼創業400年事業の3685万円と6月補正でまちづくり



▲有田内山地区まちづくりワークショップ検討会

り事業の専門家招聘費用、実行委員会負担金、県実行委員会負担金の94万円との絡みは、

まちづくり課長 3月の骨格予算での400年事業は、事業推進の専門家招聘での計上。まちづくり事業は、内山地区のワークショップ検討会3回、あと総合的なプラン作りのためまちづくり会議を発足、会議の専門家、有識者、

住民などアドバイザー的な謝金で絡みはない。

池田委員 町長の方針で立ち上げた有田町新生まちづくり事業は400年推進事業の見直しと捉えて良いか、予算の減額は。

まちづくり課長 まちづくり事業の94万円は内山地区まちづくり検討の費用である。400年推進事業は内山地区の空き家再生に絡む専門家の招聘費用で、1年間で3カ月分のみ想定だ。現時点では動きが不透明、確定ができず減額は難しい。

池田委員 まちづくり専門の課ができた。内山地区のみでなく、新生・再生はともかく町全体のまちづくりを要望する。

まちづくり課長 今後は、各小中学校区や各集落を中心とした単位ごとのまちづくりを町全体で推進する。

手塚委員 以前からまちづくり案は幾度となく発案されたが、机上論だけで実施できなかった。今回も議論で終わる事がない

様に。

まちづくり課長 以前のプランが実現できなかった要因は、行政・地域住民の協働など相方にあつた。今回まちづくり事業は、プランができたら終わりではなく、委員さんを各地区から2人(内30〜50才代を1人)選び、若い人も交え、即実践できるものは、委員を中心に実動を一緒に行う気持ちで進めて行く。

原田委員 会議だけで終わらない様に。内山地区、有田駅前など400年事業だけでなくこれからの有田のために町長と協議して進めて欲しい。

藤委員 下水道事業に1億円拠出しているが、まだ下水事業は繰越明許費3億1000万円分程完了していない。この事業計画とは。

財政課長 汚水処理場の増設工事で、公共下水道事業への貸付金である。昨年までは他事業(水道事業・浄化槽整備事業)からの貸付金で行っていたがそれ以上必要になった。

池田委員 同一企業であれば予算の流用にあたるが一般会計からの貸付金は法律上認められているのか。確認が出来ているのか。

財政課長 確認をした。来年3月この補助金が入り次第一般会計へ返済する。

藤委員 有田中学校給食用のエレベーター修理費について見積もりと金額の内容を。

財政課長 保守点検業者の見積もりがある。交換部品が製造中止で、新規特殊部品とリニューアル工レベーター一台2024万円が値引きで改修修繕費1188万円を計上した。

原田委員 消防団確保対策でトランシーバー購入費210万7千円計上。10年前は自費で購入したが、各部と団長などどのように配備するのか。

総務課長 各機械班に3台配備、副分団長以上の11人へ配備予定。要望はトータルで150万円、年400万円ほど拡充ができればと思う。

(採決の結果) 賛成全員

文教厚生常任委員会

民生、保健、医療、福祉、介護、教育に関することについて審議します。

(委員会構成議員 5人)

委員長 蒲原多三男
副委員長 松尾 佳昭

▼有田町子どもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

○現在小学6年生迄の医療費助成を拡大していく

松尾委員 この条例は以前からのものか、現執行部の検討か。

健康福祉課長 子どもたちの福祉の向上のため施策的に行うものである。

梶原委員 今後は更に進めて、高校生までの助成を。

健康福祉課長 まず、15歳までの助成を実施してから見極める。

今泉委員 一部負担の、入院100円・通院500円の無料化と、窓口負担(一時建て替え支払後に申請した後に戻ってくる)をなくす検討は。

健康福祉課長 住みよい町づくりのために検討する。

財政課長 今後の動向をみ

て財源を確保する必要がある。子どもたちが住みよい町にするための施策である。

蒲原委員長 新しい施策を始める時に、対象者が知らないことのないように。

健康福祉課長 町広報等や、関係者には回覧通知を出す。(採決の結果) 賛成全員

▼平成26年度国民健康保険特別会計補正予算

今泉委員 アウトソーシングにより行政業務が外部に委託するが、個人情報

の守秘義務と情報漏洩の懸念は。また委託契約の期間は。業務の引き継ぎの体制はどうするのか。

総務課長 民間の企業を公募して依頼する。情報管理と、守秘については業務仕様書の中で遂行できるようにする。契約期間は3年間、更新でやって

いく。各企業に対し聞き取りを行っている。その中から応募してくると考えている。委託することになれば、1カ月間の研修期間を設定する予定だ。

梶原委員 アウトソーシングでの他の市町村の取り組みは。

総務課長 玄海町を視察した。武雄市は給食管理で取り入れている。(採決の結果) 賛成全員

▼平成26年度介護保険特別会計補正予算

特に異論もなく。(採決の結果) 賛成全員

▼平成26年度一般会計補正予算

○統合保育園は間に合うのか

今泉委員 大木・山谷統合保育園事業に建築確認申請手数料が入っているが。

住民課長 新たに申請を直す。

梶原委員 どれくらい掛かるのか。

住民課長 実施設計のやり直しに400万円弱、ボーリ

ング調査2カ所で150万円掛かる。

松尾委員 なぜコストを掛けてやるのか説明を。

住民課長 園舎を大山小側に建てる予定だったが、地域の意見、気候などを考慮して、子どもたちにとって日当たりのいいよう、園舎の配置を有田川の方に変えた。

今泉委員 8,300万円の国庫補助の期限も来年3月までの完成期限だが間に合うのか。近隣住民の話は。

松尾議長 今から話をする。着工が遅れるのでは。

住民課長 近隣住民の方への話はしている。園舎の配置に異論を言われている方へも納得して頂ける

ように努力する。

今泉委員 母子家庭等の実態調査は何故、今なのか。

健康福祉課長 現在、報道もよくあるように認知症による徘徊での行方不明者の増加、就学時になっても学校に通っていない子どもが不明となることや、離婚率も高くなっているのをひとり親の状況把握調査である。

梶原委員 曲川小学校の放課後児童クラブ増築はプレハブか。

生涯学習課長 木造で、設計に60万円を計上している。

福島委員 曲川小学校の放課後児童クラブの駐車場のところは、縁石と河川

の間に花壇があり、車が止めにくいので取り除いてとの保護者からの要望があるが。

生涯学習課長 県管理の河川である。簡単にはいかないと思う。

総務課長 県や国に働きかけをして、取り組んでいく。(採決の結果) 賛成全員



▲おおぎ・やまだに統合保育園建設予定地

産業建設常任委員会

商工、環境、農林、土木建設、上・下水道、農業集落排水、浄化槽、宅地分譲などに関することについて審議します。

(委員会構成議員 5人)

委員長 久保田 均
副委員長 古賀 四郎

▼平成25年度有田町水道事業会計決算認定

善がみられないが、改善がみられないが、上下水道課長 有収率については、月別でみると上がったり、下がったりしている。下がれば、漏水が発生していることになり、補修すれば上がる。

▼平成25年度有田町公共下水道事業会計決算認定
金武委員 内山地区の密集地で個人敷地内の掘削を予定か、中樽川の扱いは。上下水道課長 一つの解決策として、床下配管だ。説明会で話をしている。

中樽川の詳細設計が実施区域にない。27年から詳細設計を行う。下流部は全て橋の上を管で渡し自然流下をおこなう。

浦川委員 伝建地区の県道は朝掘り、夜埋め戻しをしている。問題個所があるのか。工事単価は、どれくらいの高か。

上下水道課長 県道工事はその日に掘ってその日に埋め仮舗装の指示がある。翌日また、仮舗装するので段差がでやすい。伝建地区で金額が上がることはない。

(採決の結果) 賛成全員

▼平成25年度有田町水道事業会計決算認定

金武委員 23年度以降、改善がみられないが、上下水道課長 有収率については、月別でみると上がったり、下がったりしている。下がれば、漏水が発生していることになり、補修すれば上がる。

金武委員 老朽化の工事をしているのならば、率は改善するはずだが、改善は本当に進んでいるのか。上下水道課長 今は下水工事に合わせての工事が多い。下水工事に伴う工事が終了すれば通常の管路の補修工事にはいる。

浦川委員 この水道は赤絵町辺りを工事しているが、いつごろまで、稗木場まで入っていくのか。上下水道課長 札の辻交差点までで下水の工事に合わせてしている。

(採決の結果) 賛成全員

▼有田町企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項

の規定に基づく準則を定める条例の制定

金武委員 条例の提案理由は。

まちづくり課長 工業団地内で立地企業が新たに工場を拡張する場合、現在の環境施設と緑地施設の割合では、拡張できない、市町村が独自にこの準則を定めることによりその拡張を可能にする。工場拡張で、他市町への転出を防止する。

金武委員 どの工業団地か。

まちづくり課長 前原工業団地だ。

(採決の結果) 賛成全員



▲前原工業団地

▼町道路線の認定について

立部委員 町道認定基準は。建設課長 認定基準要綱を定めている。

(採決の結果) 賛成全員

▼有田町一般会計補正予算(第2号)

金武委員 残り2年間のフリーセンサー事業経費を抑えられないか。

環境課長 年間運営費に4千万円、機械器具等補修に3千万円必要。主に燃焼炉2台の修理費用。故障すると、可燃物を他市町にお願いする必要あり。28年1月稼働の西部広域新施設運用まで使用しなければならぬ。

金武委員 南山茶園再生は。農林課長 地権者を特定し、委員会を策定し、今年度を目途に検討する。

浦川委員 松くい虫の病害状況と対策は。農林課長 町内の松枯れ状態は、目立っている。森林病害虫等防除事業で、有田ダム周辺をする。森林環保全直接支援事業は老朽化した有田ダム5橋ある中の2橋分を予算化し詳細調査、設計する。

古賀委員 有田ダムの橋の

検査の基準は町独自か、県か国か。

農林課長 町道と林道の基準はちがう。林道の橋梁は林野庁の基準だ。

浦川委員 空き店舗活用事業200万円の活用方法は。商工観光課長 会議所に補助し、事業を進める。家賃補助や改築補助での活用を考えている。

(採決の結果) 賛成全員

次の議案は全員賛成で可決すべきものと決しました。

▼平成25年度有田町農業集落排水事業会計決算認定

▼平成25年度有田町浄化槽整備推進事業会計決算認定

▼事業等分担金徴収条例の一部を改正する条例

▼有田町総合経済対策会議設置条例を廃止する条例

▼平成26年度有田町公共下水道事業会計補正予算(第1号)

▼平成26年度有田町農業集落排水事業会計補正予算(第1号)

▼平成26年度有田町浄化槽整備推進事業会計補正予算(第1号)

▼平成26年度有田町水道事業会計補正予算(第1号)

町民の期待の声は

答 閉塞感の打破だ



久保田 均 議員

立候補の決意をさせたものは

議員 立候補の表明は告示日1週間くらい前だ。だいぶ逡巡されたと思うが、ぎりぎりまで決断された思いとは。

町長 責任の重さから簡単に決断できるものではない。皆様に役に立てるか、自分に何ができるか悩んで決断した。

議員 町民が町長に期待したものは何か。

町長 有田を覆う閉塞感の打破だ。

農業特産物振興策とは

議員 政府の農協改革は、あまりにも農業者を無視した弱肉強食を地で行くものだ。町長の所信の言葉を借りれば、羊の群れに狼を放つものだ。農業は市場原理主義では無理。食糧生産だけでなく、地域の暮らしや環境を守る農業と、利潤の最大化を目的とする株式会社は相入れない。所信表明の農

業を守り特産物をつくるとは。

町長 特産物は戸矢無、金柑、水菜、蜜柑、葡萄がある。世界に通用する特産品が必要。市場で戦うには味、質、量が必要だ。中山間地の保護もやる。

議員 戸矢無の加工支援は。

町長 地域の人達の知恵を大切にしながら支援をしていく。

消費税増税後の町内建設業への影響と振興策は

議員 政府が4月の各種統計を発表した。いずれも消費税増税の影響でかつて無いほど酷いことになっている。

なっている。4月の小売売上高は過去14年間で最大の減少幅で、リーマンショックを超える事態。町内も然り。町内建設業への支援策は。

町長 平成25年は住宅リフォームの支援をして実績をあげた。今年度も継続する。

議員 大木山谷統合保育園の着工延期の理由は。発注はいつか。

町長 園児、職員、園児の家族、地域の皆さんに安全快適な施設にしたい。そのため延期した。今年度末までに完成する。

一過性の400年事業とは

議員 一過性のイベントをやめ町民参画の400年祭をということだが、基本計画でも一過性に終わらせないとある。どう違うのか。

町長 400年事業の内容に対して実行委員、町民が関わっていない、知らないという状況。自分達で考え、自分達でやる。

議員 土と炎の町有田にあって、土と炎は切っても切れない。泉山磁石場は史跡として歴史に刻まれているが、燃料は松の木などに頼って400年を支えて来た。燃料確保の苦労が省みられることはなかった。町長は町内山林の現状とその保全に言及された。山の重要性を認識しての事と思う。自然エネルギーへの回帰を求められる今こそ450年から振り返って耐えられる、町民参画の松山造林のアクションを起こしては。

町長 原点に戻って考えていく必要がある。

有小を子供の学習を保証する視点で考える

議員 文科省では、集団学習の教育の質を確保するため、小学校は1学年2クラスから3クラス、通学距離の目安は、徒歩で4km以内が望ましいとしている。学校は地域の共有財産と捉えられており、子どもの数が減っても統廃合は進まない実情

があるが、子どもの学習を保障する観点が大切だとしている。有田町内の通学距離は、大山小学校で5km、曲川小学校4.2km、有田中部小から山内町境まで4.1kmだ。有小改築前に子供の学習を保証する観点を重点に再議論を。学校教育課長 平成32年までは複式学級になることはない。

ふるさと応援寄付金

議員 専門スタッフを置いて取り組め。
町長 輪が広がっていく施策を取る。

安心安全の町づくり

議員 佐賀県は玄海原発で重大事故が発生した場合、30km圏外に逃げるまで、最長30時間30分と推計公表した。有田町の対策は。
町長 今後の原子力政策を議論した上で決めていきたい。

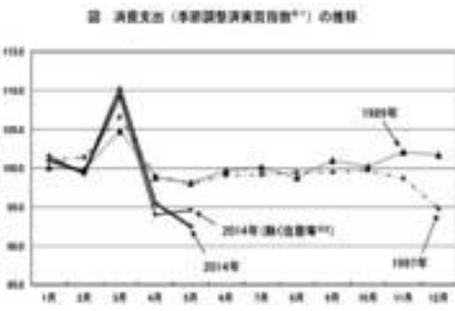


図 経費支出(特別調整経費を除く)の推移



浦川 友喜 議員

九州オルシの実現を

答 町内観光コースを設定し考慮しながら検討する

泉山磁石場の 観光活性化

議員 有田焼創業400年事業で、泉山磁石場の取り組みは。

町長 まず先人の皆様に感謝しなければと思う。これから位置付けをし、地域、業界、関係者と協議する。今年度は石場事務所前に大型バス6台、普通自動車27台の駐車場を整備する。

議員 旧相撲場跡地も5年前から整備され、50年程前の土俵と観覧席も懐かしく面影をとどめている。もみじも500本程を植



▲泉山相撲場

樹され、秋には素晴らしいもみじスポットでもある。このままではもったいないので、泉山防災広場東側奥から現地まで遊歩道を開発すれば、利用客も増えると思う。

秋には防災広場に駐車して、旧相撲場を経由して、石場神社前、先人陶工碑、磁石場内、資料館現相撲場に繋がる、神埼市の九年庵に劣らないもみじロードになると思う。磁石場一帯を散策した後、大イチョウを見学されたら大満足の旅になるものと確信する。

町長 内山地区をどう磨いていくのか、皆様の協力を頂ながら、400年事業の中で検討したい。

九州オルシの実現を

議員 ジョギングブームでもあり、武雄市、嬉野市、唐津市など県内の観光地では話題性と実利を兼ねた取り組みを実施し



▲九州オルシ

ている。オルシの内容の説明を。

商工観光課長 「オルシ」は韓国済州島から始まったもので、もともとは済州島の方言で「家に帰る細い道」と言う意味、済州島でトレッキングする人が増え、オルシはトレッキングコースとして命名され、オルシの魅力は、海岸や山なみなどを五感で感じ自分なりにゆっくりとコースを楽しむことにある。九州で12か所ある。

議員 有田町の名所、旧跡、文化財だけでなく、自然の良さも十分に満喫して頂く取り組みだと思つ。実現は。

町長 会費、費用、コー

スの設定と、アスファルトを避けるとかコースの距離も15キロ前後、8時間以内といろんな制約もある。先に、町内の観光コースを設定し考慮しながら検討する。

バランスシートと 合併特例債

議員 バランスシート(町)が持っている財産状況を表す貸借対照表)は作成しているのか。

財政課長 平成24年度分をホームページに掲載している。

議員 ホームページは一部の人しか見ないので、町債(借金)の状況だけでなく、資産の状況、差引、純資産の状況等も含めて町民にわかりやすいように広報に掲載して頂きたい。

財政課長 次回から広報に掲載していきたい。

議員 合併特例債のこれまでの使用状況は。

財政課長 全体の中で使

用可能金額が56億6000万円。平成18年度から25年度まで19億5000万円を活用して34.4%。平成26年度は2億9000万円を活用する計画。使用期間は平成28年度から平成32年度まで、5年間の延長されることに伴い、現在まちづくり課の方で期間延長に向けた関係書類を作成中である。

道路行政

議員 県道泉山、大谷線の工事進捗状況は。

建設課長 第一期工事の施工は平成26年度で完了する予定。

議員 天狗谷窯跡入口と窯跡までの道路の改修と白川、稗古場、トンバイ堀石畳通りの点検改修を。

建設課長 現地を確認してから検討する。

議員 原宿、広瀬線の国道35号線への接続計画は。

町長 県にお願いする手続きを開始した。

内山地区活性化策は

答 伝統・歴史を守り、住民の声を大切に



古賀 四郎 議員

副町長人事

議員 町長不在や緊急時の決済は。

町長 現在、総務課長を職務代理者とし、常に連絡の取れる状況だ。

議員 副町長職務は。

町長 各課長に責任を持たせ企画、立案、職責で対応し、最終決済は自分とする。

議員 課長決済が後で覆ることは無いが。

町長 職員とは十分意思疎通を認るので無い。

議員 対外的な決済や長期出張時の場合は。

町長 出来るだけ長期出張は控え、常時連絡のとれる体制は取っていく。

議員 県、国との対応に支障はきたさないか。

町長 事前に日程はわかるので対応できるし、緊急時は前言の通り対応する。

議員 期間は。

町長 必要と判断できるまで。

四百年祭事業

議員 広報や表紙に石場の崩落箇所が出ているが。

町長 以前の探掘風景と思っていただけだ。

40年事業推進課長 磁石場は原点の地なので、今後とも情報発信として使用したい。ホームページは崩壊箇所を強調したようなアップの写真なので今後修正したい。

議員 今後の有田の顔となるべき場所、安全面に配慮し、散策できるように整備すべきだ。



▲泉山採石場

議員 40年事業実行委員

会と意見の相違が感じられるが、委員会の改編、改選は考えているのか。

町長 実行委員会の役割は一段落したと考えている。今後は町民参加の方向でやっていきたいし、専門家の意見も必要となってくる。

議員 7月に発表予定の執行部案の骨格は。

町長 試案だが伝建物をいかした町ごと博物館、日本の伝統工芸とコラボした町ごと美術館等を考えている。

内山地区活性化

議員 3月〜5月迄行われたワークシヨップと6月に開かれた活性化会議の評価は。

町長 3月からの電線地中化と町づくりの中で話し合いと認識、6月の会議は内山の住民や区役員が中心で内山地区の現状認識と問題点の提起の場と捉えている。

議員 現在、内山地区は人口減、商店の減、駐車場不足、空き家等の問題が山積だ。その対策は。

町長 以前、地区にいた商社等が卸団地に移られてから物流が衰退したの否めない。又、産業形態の変化により業界自体も減速してきた。その中で地区住民の声を聞き、歴史の町、伝統文化の発信できる町として住民と共に問題意識を共有し方向性を見出して行く。

議員 雇用促進や企業誘致、移住促進策、起業の支援、空き家の有効利用などの様に考えるのか。

町長 いろんな意見を賜りながら地域で考えていきたい。

議員 住民の声はタウンミーティングや区長会の場を利用する事は。

町長 タウンミーティングは現在、予定はないがいずれ行いたい。総区長は町の運営に、各区長は地域をまとめ、意見を集約して町と協議するよう

にしたい。又、待遇面も考慮したい。

議員 活性化案としてリタイアした方達の技術の伝承、後継者育成等での再登用、空き家対策として志のある方、起業したい方等に町として応援・支援を積極的に行うていただきたい。

町長 ケースバイケースだと考える。地元の皆さんとよく協議していただき、担当課ともよく話し合われた事案に対し前向きに検討したい。青木町長は内山地区は産業が「生きている町」だと言われている地区だと思つて、交流人口の増大、伝統産業の町、観光資源の有効活用により再生可能な町づくりを目指す。

議員 40年事業と内山地区活性化は同じ方向を向いている。町発展と将来にため汗を流されると期待している。

町長 町民の意見をよく聞き方向性を見出す。



池田 栄次 議員

有田焼創業400年事業
「事業を見直す」とは

答 住民が主役の事業にする

行政の見直し

見直す意義と範囲は

議員 「行政の原点に返つてすべてを見直す」とした意義と目的は何か。

町長 「税金をいただき、行政サービスでお返しをする」、これが行政の原点だ。見直すべきは見直し、行政の原点に戻りたい。

議員 職員組織を含め、執行体制も見直すのか。

町長 その通りだ。

副町長を置かない理由

議員 副町長をなぜ置かないのか。何時までか。

町長 各課長に自発的・自主的な事業展開を期待しての結果だ。置かないのは「当分の間」だ。

議員 法的には「置く」とある。期間はともかく、議会の同意を得て、「置かない」とする条例の制定が必要ではないのか。

町長 検討する。

行財政の改革

「無理・むら・ムダ」

議員 町長は「行政課題の第一番に無理・むら・ムダがある」と指摘した。

町長 職員とのヒヤリングでも確認した。行政の効率性からも早急に改善させたい。

選択と集中で優先順位

議員 行政の原点に戻って何が必要で、何ができるのか、「選択と集中で事業に優先順位をつける」ともした。事業を見直せば、関係者は不安と不満に駆られる。予算も枠配分方式で、各課は効率的な事業をしてきたはず。

町長 事業を確実なものとするには、問題点や課題を説明することが最も重要だ。それによって次の事業にも取り組むことができ、必然的に事業の優先順位が決まる。

有田焼創業
400年事業の見直し



日本磁器誕生・有田焼創業400年
The Birth of Japanese Porcelain: Arita Ceramics 400th Anniversary

事業の見直しと意義

議員 この計画の見直しには前町長をはじめ、関係者が「成程」と理解することが大切だ。

町長 先人の偉業を顕彰し、有田の歴史に感謝して人づくりと魅力的なまちづくりをして、次世代につなぐ事業にしたい。2016年はスタートの年だ。各界のご意見を踏まえたい組織づくりや事業案を創り出す。2016年までは短い、時間は十分にある。

「事業の主役は町民」

議員 町長は、「事業の主役はあくまで町民だ。住民自らが立ち上げ、動き出すための最初の支援をするのが行政の役目」だとしている。

町長 町の将来を考えるのは住民だ。その思いを事業に取り込むことで町が変わり、発展もする。町民による「われわれの事業だ」との意識づけに全力をあげる。

新庁舎の建設

議員 新庁舎を町の中心にとする意見もある。私は散在する施設の統廃合が先だと主張してきた。

町長 の考えは。町長 庁舎がここにあって良いのかの思いはある。しかし今、どうこうする考えはない。既存の施設の有効活用を先ずは考えたい。施設の要・不要も検討する。

農業の六次化

議員 他の自治体でも農業の六次化を推進している。町でも「道の駅」や「農家レストラン」構想が議論されてきた。

年間を通じた加工や販売には、多品目を特産地化しないと持続できない。指導員も必要だ。

町長 中山間地域の農業を持続可能なものに育てる施策を講じる。有害鳥獣の駆除にも努め、世界に通じる特産品づくりと特産地形成をやりたい。農協や県にも協力を要請している。指導員も必要に応じて確保する。(六次産業化) 農・水産業等の第一次産業が、加工や販売にも業務を展開する経営形態。農業のブランド化、消費者への直売、レストラン経営などの付加価値を生む。

その他の質問

◇有田小学校の改修・改築

◇南部工業団地の造成

町政をどう変えるのか

答 先が見えない現状・閉塞感を打破したい



原田 一宏 議員

所信表明

議員 所信表明では具体的な政策・目標が分かりづらかった。町政をどう変えるのか、何をどうするのか。

町長 「町民と一緒にやってくれ」との声に応えるべく、有田の先が見えない現状・閉塞感を打破し、夢・目標を実現するため、しっかりと支援していく。一つ一つについては、今まで同様これからも引きつづきやっていく。

議員 地域産業を世界に通用する産業にしていくために、窯業ではグローバル化以外にどういうことを考えているか。
町長 世界市場が一つになつており、環境の変化に対し知恵を出し合っていく。各々が取り組めることを支援しながら進めていく。

うに考えようとするべきか。

町長 深い問題だが、この産業に将来が明るく見えることをやる。希望のある産業として支援していく。やりがいのあるものと思えるようにすることが唯一の道だと思う。

議員 観光客の増大を図るため、通年観光の誘客はどのように考えているか。

町長 客の立場にたつて、また訪れたいという環境づくりをしたい。町の魅力をつくり、交流人口を増やし、ビジネスに繋げるようにしていく。

有田焼創業40年事業

議員 6月5日付の新聞報道に「40年事業大幅見直し・一過性やめ町民参画の事業」とあった。見直しの具体案は6月30日開催の理事会で発表するのか。

町長 具体的なプランニングはしているが、今ま

でのプランと比較作業をしている。産業再生のため、何が必要かを考え、いろんなサポートをしていくことが次につながると思う。主役は業界であり、町民の皆さんである。

議員 3月28日に発表された基本計画は、5部会で協議された町民の意見を反映していると思う。実行委員会意見・提言はしたのか。

町長 実行委員会ではしていない。事前協議では何回となく意見・提言してきた。

議員 窯業関係者も有田浮揚の一大イベントと位置付け、窯業の活性化政策・内需拡大政策をとってほしいと言っている。その点を考え、対応してほしい。

陶器市の問題点

議員 陶器市開催前日のプレス発表で、今年も赤

坂卸団地から白川有田小間のシャトルバスが運行中止になった。もっと早くできなかったのか。

町長 会議所には何回も言った。お客様の安全を考え、前日の公文書発表となった。今年2橋、来年2橋、再来年1橋検査していく。

消防

議員 昨年12月に「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が公布・施行されたが、消防団の装備の充実についてどのように考えているか。

総務課長 早急に必要なものから、年次計画を立て、優先順位を決め、配備していきたい。今年度はトランシーバー98台を予定している。

議員 佐賀県や佐賀市には庁舎内に消防団加入の職員がいる。武雄市も加入促進を図るようだが、



有田町は一向に増えない。職員の消防団加入についてどのように思うか。

町長 職員の加入を進めていく。必要とあれば、庁舎内消防団も視野に入れていきたい。





金武 康男 議員

文化ホールで質の高い文化事業を行うには

答 町民が文化ホールを活用する施策が必要

歴史公園指定管理

議員 町民から質問を受けたので報告する。問題点は次の通り。

1、「響の理事長が募集要項に違反して、選定委員の教育長と事前接触を行ったこと。しかし、訪問を受けた側が、挨拶と思わなければ接触でない。」とは暴論と思う。

2、「選定委員会が募集要項の選定方法に従わず、響は単に文化事業に積極的だと期待して選定された。」しかし、質の高い文化事業は採算がとれないため、計画通りの文化事業はできなかつた。できもしない文化事業を評価して行った選定は間違っていたと私は断言する。

3、「響の人件費が前年の2倍以上の予算となっていた。人件費倍増が清掃などの管理費を圧迫しサービスを低下

させた。」

町内の保育園・学校や文化協会等が行う入場無料の文化事業については、使用料を光熱費のみとし、もっと町民に活用してもらうこと、質の高い文化事業は町が補助をして1000円程度で鑑賞できるように見直しをすることを提案する。町はもっと文化事業に予算を使うべきである。



▲スタインウェイピアノ

スタインウェイピアノ修理

町長 文化ホールをもっと町民の文化事業に活用してもらおうような施策が必要と思う。

議員 歴史公園文化ホールのスタインウェイピアノは200万円以上の価値がある世界最高級のピアノである。そのピアノに故障があつて修理の予算が計上されている。

いつ、どのような故障が発見されて、修理は既に発注済みか。

生涯学習課長 25年6月、響がピアノを調査して鍵盤の異常を発見した。修理は入札でクラビアートに決定している。

議員 専門家によると「ピアノの内部を見るの

は調律師だけであり、ピアノを壊す可能性は調律師にある。ピアノの老朽化以外の故障はほぼ調律師と言われている」とのこと。25年3月末、前任の調律師が5〜10年は修理の必要はないと判断している。

4月、響によつて調律師が変更され年間保守契約がなされている。契約時に、ピアノの状態に異常がないかどうか確認して保守契約がなされるべきである。もし確認していなければ、その時点でピアノに異常はなかったと推定するべきである。

生涯学習課長 契約時に異常は確認されていない。従つて契約時に異常はなかったと推定される。

議員 6月に異常が発見された時、当然前任者に確認すべきである。ピアノを引継ぐ段階で異常がなく、わずか2カ月の間に異常が発見され、しかも前任者に確認もしない

で修理を発注したのは管理者の責任である。

生涯学習課長 前任者の確認が必要ないと判断したのは教育委員会である。

議員 26年度の保守点検予算でスタインウェイピアノの保守が除外されている。年度内は使用できないのか。

生涯学習課長 10月までに修理するのでその後は使用できる。保守点検の必要はない。

議員 県内の文化施設担当者の話だが「保守点検したスタインウェイの調律師が悪く、演奏家の不評で使い物にならず、数万かけて再修理をせざるを得なかつた。今後その調律師(クラビアート社)とは絶対に保守契約はしない」とのこと。

スタインウェイは特殊なピアノであり、修理は特別の技術者のみしかできないと聞いている。間違えば、莫大な費用が発生する。詳細調査の上で修理していただきたい。

農業振興をどうするのか

答 特産品をつくり、6次産業化を進める



立部 正則 議員

農業の振興

議員 所信表明で、農業の特産品づくりを進めるとあったが、そのスケジュールと、品目の選定方法・選定委員のメンバーをどのように考えるか。

農林課長 今まで栽培された農産品の実績の調査を普及所にお願ひしている。その結果を踏まえ、生産農家・加工販売者・普及センターなどで10名程度のワーキンググループをつくり、その中で検討会を開催して目的を絞る。

有田町の気候風土や中山間の狭い所でも手間のかからない野菜・果樹を検討し、農家に委託栽培をお願ひする。海外の種苗については、植物検疫法・フシントン条約などの制限があり、町単独での輸入はできないが、専門の種苗会社からの情報も仕入れてワーキンググループの中で協議を進めたい。

議員 第1回の会議をいつ予定しているのか。選定の期間をどの位考えているか。

農林課長 6・7月に第1回の会議を持ち、月1回のペースで会議を行い、秋頃に目途をつけたい。農産物は年1作なので、栽培圃場も委託し選定する必要から、来年の春に植え付けができればと考えている。

議員 6次産業化はどのように進めるのか。

町長 和歌山県などの先進地は、後継者がしつかり育ち、2次加工をつくり、そこで雇用を生み農業が宮々と根付いている。6次化とは梅農家のように加工し販売するということなので、JAと話し合い「四季ありた」に加工施設をつくる計画が進んでいる。その中で町がどのような支援ができるか検討し6次化のきっかけづくりを進める。

議員 現在7つの集落営農がある。その内3組織

が法人化の取り組みを進めている。その支援をどのように考えているか。

農林課長 法人化に向けては全体的に勉強会を実施した。3組織については、独自に勉強会を進めているが、共通した問題は整理して勉強会を実施したい。町だけでなく県や普及センターも含めて勉強したい。

議員 その営農組合が夏場の作業軽減のため、役場と一体になってセントピースグラスの育成テストに取り組んでいる。成功すれば改めて支援をできないか。

町長 農業情勢は大きく変化している。今まで、生産組合・機械利用組合・営農組合と変化をしてきたがそうしないと水田農業を守れない。その中で法人化は多くの問題を含んでいる。この地域の農業を守るためには、支援できることはしっかりと支援していく。



▲セントピースグラスの播種作業

有田焼創業400年事業

議員 400年事業を見直すといわれるが、その中に「有田の町で」とあった。旧西有田町も含まれると認識しているか。

町長 窯業界は、兼業農家の方に支えられて発展してきた。また大外山と言われる地域も存在する。窯業・農業をまとめて有田の発展のために400年事業を実施したい。



▲田植え後の水田

議員 「食と器」を考えると農業が参画できる計画があつてよいと思うが。

町長 有田町で採れた農産物と有田焼の器とマッチングができる。町を挙げて400年事業に取り組んでいく。

議員 農産物には時期がある。栽培には時間が掛る。そのため、計画を早く示して欲しい。

町長 地域を挙げて400年という節目である。地域の方々が将来に向けて何ができるか、将来に向けて夢をどう持つか。大きく捉えた400年事業にした



松尾 佳昭 議員

有田焼創業400年事業
理事会・実行委員会を7月までに開催を

答 なるべく早く開催する

子ども子育て支援

議員 子ども子育て支援3法が来年4月から始まるが。

住民課長 12月に子ども子育て会議を開催、メンバーは15名。子育て世帯1836世帯に二一ス調査を実施。有田町独自の項目あり、回収率は約65%。二一スの見込みを出し、保育サービスなど全町で行う。

議員 午後6時の壁について。現在、町外で働いている保護者も多い。6時までの預かりを30分延長できないか。

町長 放課後児童教室の役割は、子育て世帯の二一スに比べ、問題をカバーすること。前向きに検討する。

ICT教育

議員 いまICTは避けて通れない。町のICT教育の現

状と課題は。

学校教育課長 有田町は県内20市町の中でも進んでいる。今後は中学生にタブレットPCの整備もある。各中学校にICT支援員を配備。整備計画を立て進めていく。

オープンデータ

議員 オープンデータ活用に対する行政の課題と考え方は。

財政課長 保有データからオープンデータとして公開するための基準やルールづくり。公開できるデータの仕分作業、著作権取扱、利用条件、データ形式、公開方法などを検討する必要がある。

議員 県もオープンデータを活用する計画だが、町と連携できないのか。
財政課長 県も活用方法について調査・検討を行っている。先進地を参考に佐賀県に見合った活用を考えている。県と

協力しながら取り組んでみたい。



▲ICT機材を活用した大山小の授業(2014.7.2)

若者など交流人口増

議員 佐賀大学と有田窯業技術大学の連携が2016年に予定されている。ここに集う若者のエネルギー、知恵、力の活用を。

町長 若者が集える、生活・活動できる、子育てできるようにまちづくりを活かしたい。

議員 地域活性化プランコンテストも3回目9月に予定されている。ぜひ若者のアイデアの活用

を。

町長 若い人たちの観点からのまちづくりの提案には興味深い。前向きに活かすきっかけにしたい。

議員 町をあげての婚カツの場の提供などできないか。

町長 若い人の交流機会を作っていくことは重要。若い人たちの提案を楽しみにしている。

議員 町長は人材育成ということをよく発言されている。町長が目指すものは。

町長 有田焼のマイスター制度の整備、観光ガイドの育成制度、有田町の



▲第2回地域活性化プラコンの様子(2013.3.3)

ソムリ工制度などが目指す道である。

有田焼創業400年事業

議員 400年事業の実行委員会から最終の基本計画のプレスリリースが3月28日にあった。その基本計画の作定の流れは、実行委員77人を各専門部会に分けて、何十回も協議を重ね78項目に絞り込み、事業という形にして基本計画になった。それを一般の我々では事業化できないのでその道のプロにお願いしたのが基本計画。我々町民の声がしっかりと反映された計画である。理事会と実行委員会を7月までに開催して次の段階にすすんで欲しい。

町長 実行委員会の部会は町民が主役でアイデアを絞りこんできた。これを基に400年を事業化していくのが基本。実行委員会はなるべく早く開催する。

有田内観光トイレの維持・管理部署の一元化を

答 県と相談し、慎重に進める



松永 俊和 議員

町の観光推進で

議員 有田にはたくさん観光客が来られる。特に今年も5月の陶器市は10数年続けて100万人以上見えられた。その中で「有田ダム下の駐車場のトイレが汚い・臭い・ドアが壊れて使用できない」と、お客様から指摘を受けた。確認できたか。又、維持管理は。

農林課長 後日、確認をした。すぐに対応して、トイレのドアの修理を完了した。

ダム下のトイレは水道代や維持管理は農林課で行っていたが、竜門ダムのトイレはシルバー人材センターへ、腰岳の河畔公園トイレは地元へ委託している。有田ダムのキャンプ場近くのトイレやダム下の駐車場のトイレは今後対策を考える。

議員 以前、有田ダム内のマイセンの森内トイレの修理は商工観光課が維持

管理で修理したが、同じお客様が利用するトイレで維持管理する部署が違うのはよくないと思う。維持管理部署の一元化ができないか。



▲有田ダム下の駐車場トイレ

商工観光課 水道代・管理費・周辺の木立伐採など管理が分かりづらい状況である。トイレ台帳を作り対応を進めている。

町長 日頃から感じている事だが、しっかりと管理態勢を整備していきたい。地域のみなさんと共に取り組みたい。

議員 ダムへ向かう浄水場近くのガードレールが赤く錆付き、苔で黒く汚れていると指摘も受けた。対応を。

建設課長 今までそのような意見がなかったのので、確認して対応する。

伝建地区の活用は

議員 平成3年から整備している伝統的建物群保存事業を有田町が取り入れた目的は。

文化財課長 以前、単体でしか伝統的建造物が保存できなかった、昭和50年に国の文化財保護法改正でこれからは面的な広がりでの保存ができ、有田内山地区が国の指定を受け建物やトンバイ堀などの保存ができるようになった。



▲伝建対象の家屋(修理前)

議員 伝建地区の対象家屋や保存修理対象事業対象物件数は。

文化財課長 現在までに対象物件は158件、トンバイ堀などの環境物件は130

件。これまで修理修復した件数は106件あるが修理を数回行った家屋もある。
議員 保存対象家屋の義務や税的な優遇措置があるのか。

文化財課長 個人の所有物で有田町の条例に義務を加えることは難しい。税務課長 伝建保存に指定された家屋は、固定資産税が地方税法で非課税対象となっている。



▲伝建対象の家屋(修理後)

議員 全額ではないが町税から助成、また固定資産税の免除など優遇措置がある。町として保存修理対象の家屋や店舗用に改築された建物を毎日とは言わないが、町内でイベントが開かれる時など、お客様へ開放し、催事をするなど観光客増加の喚かけにできないか。

町長 住民の協力を得て伝建の保存ができています。個人所有物であるがご理解のうえ、公開できれば良いが生活の場でも。伝建物の魅力・町の魅力・歴史や文化の魅力などお客様へ披露できればと以前から考えている。ご理解ができる方は協力してもらっているが、これについては住民の判断に任せる。

議員 昨日の答弁で、400年事業の1つに町中美術館構想を計画されているが、伝建地区建物の活用は。

町長 町中美術館は日本の伝統工芸など展示する意味である。伝統的建造物の町ごと博物館構想ができれば。家の歴史や建築様式などを表示してお客様が家に入らなくても当時のなりあいが見えるような町ごと博物館ができればと思う、これも住民のみなさんのご理解と協力も必要だ。いま話し合う機会を持っている。



手塚 英樹 議員

窯業の再生は

答 情報の発信力と販売力

少子化対策

議員 有田の対策は。

住民課長 子育て支援として母と子の広場・レングの集い・赤ちゃん訪問・広報で子育て情報の発信・働く夫婦のため一時預かり保育・延長保育・放課後児童クラブなど行い、医療では小学校まで医療費無料など行っている。

議員 町長の考えは。

町長 まずは若い人に住んで貰える様、町の経済の活性化、住んでよし、訪れてよしの町づくりを目指す。

議員 保育料は第1子第2子第3子が同時期に保育園に入園時に保育料は第2子半額第3子無料となつていますが同時入園時ではなく第2子半額第3子無料とできないか。

町長 子育て支援は重要だと思つ。財政が問題だが全体的に考えて取組んでいきたい。

観光

議員 町長の観光の基本構想は。

町長 基本として観光客を増やし町の魅力を上げて行くこと。観光の持つ裾の大きさ、お土産、飲食、宿泊等々で交流人口を増やし経済の活性化に繋げたい。

議員 総合計画では交流人口を平成29年に28万人とする目標になっているが、町長の数値目標は。

町長 数字を追うつもりはない。訪れてよしの環境、おもてなしの環境を整えてまた来たい町にしていきたい。

議員 事業の検証のためにも数値目標が必要ではないか。

町長 イベントは数値目標が必要である。ただイベントでは継続性がない。通年観光で町の魅力・人の魅力の充実をはかる。
議員 町屋民泊についての考えは。

町長 10軒程（1棟貸）

の話がある。これは国の補助を受けての事業である。旅館業は、投資も必要になる。町内に宿泊される方が満足できる仕掛け、おもてなしの充実が先に必要と考える。

議員 グリーンツーリズムでの体験型農家民泊は規制が緩和されている。

町屋民泊も同様にするには県の条例変更が必要と聞いている。県との協議をお願いしたい。
次にインフラの整備も必要である。内山のアンケートにもあった丸尾白川線の道路・街なかに大型駐車場整備など将来に向けて検討も願います。

また大谷ため池漏水工事で工用道路が中樽大谷間にできるが工事終了後も使用できるようにならないか。

町長 中樽大谷を結ぶ道路を主要な位置づけにしている。また工用道路として広くなつても中樽ポーセリンパーク線は

離合するには狭い、大谷猿川を結ぶ道路はV字地形の工事困難な場所である。

議員 内山の県道大渋滞時に逃げ道がないのが現状である。また伊万里市の玄海原発事故の避難受け入れに内山の体育館・全ての公民館も避難場所になつている。今回の工事で仮設ではなく広くなつた中樽大谷道路が出来れば将来役立つものと思つ。

窯業の再生

議員 窯業の再生について中・長期の展望は。

町長 業界の望むべき姿を40年事業でも支援していきたい。主役は業界の皆様である。顧客への情報の発信力であり販売力である、ここに支援の力を入れていきたい。

技術の研鑽、技術の継承、で産地の総合力を上げることである。

議員 行政の支援による市場調査は。

町長 数字や理論は大切である、市場調査は数年前に肥前陶磁器商工協同組合で調査した。現在は市場が大きく変化しグロ―バル化で商品が溢れている。

新市場、新商品開発をやらないと、今の延長線上にはもう市場は無い。要は考え方を変えて本当に人が欲しいものをどうやって開発し作って行くかである。

議員 市場の動向は新しい情報が必要である。
家庭用・業務用・美術品の国内の市場の把握は産地、企業に大切な指標であるので検討をお願いする。



認知症高齢者の徘徊対策は

答 生活習慣病の重病化を予防する必要がある



福島 日人士 議員

高齢者の認知症による徘徊

議員 警察庁によると2012年認知症が原因で行方不明になった人は9607人、2013年度は集計中で1万300人に見込まれている。一方2012年度中に判明したのは9478人。この中には交通事故や徘徊中に凍死などの理由で亡くなった359人が含まれる。有田町の認知症の人は何人いるのか。

健康福祉課長 有田町の要支援認定者約300人、要介護認定者900人、合わせて約1200人が介護保険等の認定者になっている。

その内に認知症の判定を受けておられる方は約800人である。

認知症サポーター制度

議員 山形市や名古屋市などでは、徘徊の恐れのある人の家族が申し出る地域包括支援センターの職員が「自宅を訪問し

氏名や身体の特徴、旧姓生まれ育った場所、その場で写真を撮る」など様々な情報をあらかじめ把握し早期発見につなげている。名古屋市では2012年秋から認知症サポーターとして登録した市民に行方不明になった人の特徴を家族の同意を得てメールで一斉送信捜索に協力してもらおう取り組みも始めている。

有田町の取り組みと現状をお尋ねしたい。

健康福祉課長 有田町からは現在までに30人の方がキャラバンメイト(指導者)として登録されている。町ではキャラバンメイトは団体からの要望があった時に認知症サポーター養成講座を実施している。町では現在、この講座を受講して認知症サポーターになられている方は484人いる。

高齢化社会



議員 日本人の平均寿命は過去最高の79.4才、その一方で介護が必要な高齢者が増加している。有田町の一般会計予算は84億円余り、その中で国民健康保険給付費22億円、介護保険給付費20億円と伸びている。一方有田町の若年人口流出、低賃金労働など未来を描けない、この高齢化社会の対策が急務ではないか?

健康福祉課長 町においても、健康寿命の延伸が課題であるが、年々、増大する介護保険給付費は平成23年度約18億5000万円、24年度約19億5000万円、25

年度約20億6000万円と年間約1億円ずつ増大している。給付費を適正に保つためには、その原因となっている生活習慣病を未然に防ぐか、重病化を予防する必要がある。



▲グラウンドゴルフ練習時の歓談

有田町のデータを分析した結果、医療と介護の共通した健康課題は、生活習慣病の中でも脳血管疾患と心疾患を含む循環器疾患で、その危険因子である高血圧と糖尿病などの改善を図る必要がある。

議員 65才以上の方々が

生涯現役で仕事ができ、地域社会への労働力としての参加で問題課題のつげを子供や孫の代に残さない様に対策が急務では。



▲グラウンドゴルフ

健康福祉課長 社会福祉協議会等に委託して健康トレーニング教室や高齢者食生活改善事業、介護予防教室では栄養改善に関する指導などを行っている。健康福祉課だけでなく、できるものではないので、老人クラブ、シルバー人材センターなど町全体で取り組む課題だと考えている。



藤 誠一郎 議員

「歴史と文化の森公園」
施設の活用・処分について

答 売却や他の利用方法も含め審議会の中で議論していく

協働により、持続可能な
行政基盤の確立の確立
に向けた提言・提案

保有財産の有効利用
及び処分等により収入
の確保を図る

議員 新有田中部小学校
建設予定地、整備開発に
要した費用、用地購入費
を含め2億4,800万円。現在企
業誘致地区として策定さ
れている。既に20年以上
経過、塩漬けになってい
る。用途変更が可能であ
れば宅地転用の道を探っ
て条件整備を進めること
が肝要ではないか
又塩漬けになっている
資産を一日でも早く処分
していくことが町の方向
性ではないか。
町長 有効利用、処分等
宅地として分譲するの
かを含め早い時期に結論を
出す。

歴史と文化の森公園
施設の活用と処分
について

議員 用地買収から施設

整備にかけた初期費用・
総事業費を示せ。

財政課長 総事業費は62
億2千万円。その内訳は

地域総合整備事業債が約
5億4千万円、一般財源
が11億8千万円。

議員 地域総合整備事業
債。銀行への償還、残高
は。

財政課長 繰り上げ、借
り換え償還を行い、現在
残高はない。

議員 今日に至るまでの
15年間で約10億維持管理
費がかかっている。又施
設の老朽化が進み、補修

・修繕が不可欠。更に今
後10年間で6億〜7億程
度かかる。行政の役割と
して、継続してできるの

か。有権者・専門家の知
恵をお借りして、テーマ
パークとしての再利用や

企業誘致する方向性を見
出していく。それも一考
ではないか。

町長 施設の有効利用、
もしリフォームしない必
要でない施設ならば、売
却や他の利用方法も考え

ていく。審議会の中でも
しっかり議論しながら利
用できればと思うのでご
指導を賜わる。

ふるさと納税について

議員 ふるさと応援基金
の仕組みについて、申請
手続き等簡単明瞭にして

40年の節目を迎えるので
基金の醸成を図っていく
ことも一考ではないか。

総務課長 納付方法を含め
早急に対応していく。

議員 収入の確保への提
言の社会的背景は、
一、人口減少に歯止めが
きかず固定資産、法人

町民税の伸びが期待で
きない。
二、平成25年度の収支決
算見込みで(平成25年

3月現在)基金残高約
31億円ある。起債(借
金)は一般会計、特別会
計、企業会計含め181億

円あり、町の借金は差
し引き15億円である。

三、平成28年度から地方
交付税が段階的に5億
円程度減額になる。

人件費と事務事業の
改善、見直しにより支
出の抑制を図る

議員 人件費について、

町長は職務内容を精査し
たいという事で当面の間
副町長、アドバイザー二
人を置かない決断をされ

た。条例に違反している
か問題になったが私は町
長が必要と判断を下した

時、議会に提案し同意を
求めるものと理解してい
る。それゆえ、二人合わ

せ、年間1500万円程度が減
額になる。大きな決断で
あり評価に値する。

職務代行者の総務課長
初め各課長、職務に支障
が生じないよう進めて頂
きたい。そこで勤務体制

の中、時間外勤務につい
て、残業の許可は誰か。
総務課長 担当課長の責
任で許可し、仕事をして

いる。町長の方から、現
在、定時で帰るよう指示
を受けている。

議員 時間外勤務を抑制
すべきだが、現況の時間
外勤務手当の支払状況は、

総務課長 前年度より215
万円増は会計検査を複数
の課で受けているため増
額した要因。(左表)

時間外勤務手当額	
平成22年度	4,416万円
平成23年度	2,983万円
平成24年度	3,365万円
平成25年度	3,580万円

議員 事務事業の改善・
見直しは、既に実行に移
した状況と理解している
が、縦割り行政では、組
織が強化されても機能し
ない。横の連携を図り、
職員の意識改革をうなが
し、今後、施設の集約化、
行政のスリム化、専門性
の高い人材を育てること
が行政の役割であり、住
民サービスの向上につな
がっていく必要がある。

町長 役場の仕事は行政
サービスだ。原点到り、
住民の要望に速やかに効
率的に対処し、総合的に
見直していく。

統合保育園は来年4月1日までに開園できるのか
出来なければ83,255,000円の損失

答 3月中に完成する事を守って進めていく



今泉 藤一郎 議員

南部工業団地
開発造成の時期

議員 県と町が折半で用地を取得して造成費用を償還するようになった。一方、国は交付税を

平成28年度 5千万円
平成29年度 1億5千万円
平成30年度 2億5千万円
平成31年度 3億5千万円
平成32年度 4億5千万円
と段階的に減額する。

県との共同事業なので、造成時期は、県と協議して決断をすべきだ。

町長 充分に承知している。県と協議して進める。

議員 立地する企業が進出決定後に造成するとした時に

① 県は数年後でも折半で用地、開発造成費用を負担するのか。

② 企業に売却する時に用地取得と開発造成に要した費用より、安価で販売する事が可能か。

③ 分譲も可能か。

④ 県の負担分は、償還しなくて良いのか。

南部工業団地事業

(単位：千円)

	用地取得費用	H26	H27	H28
事業費	478,500	1,150,000	1,150,000	0

H26～H28で造成した場合の償還

(単位：千円)

		H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
償還	0	0	5,400	98,200	10,000	57,500	307,400	230,000	460,000	460,000	460,000	460,000	230,000
利子	2,666	5,735	21,912	37,449	37,316	36,624	32,213	32,200	28,980	22,540	16,100	9,660	3,220
繰入	86,386	5,735	135,649	135,649	47,316	94,124	339,613	266,220	488,980	482,540	476,100	469,660	233,220

町長 いろんな問題があると思う、と同時に周辺地区の工業団地の状況を調査して進めたい。

以上の事などを確認して造成時期を判断すべし。

3月までに完成するのか
統合保育園

議員 園舎は木造平屋建て700㎡で定員120人、開園は平成26年4月の予定だった。なぜ遅れたのか。

4月22日入札当日になって急遽中止した理由は、住民課長 現在、定員100人、園舎950㎡で実施設計している。広く住民の意見を反映させる事がより良い保育園を造ることに

なる。長い間協議を重ねた結果、開園予定が延びている。

町長 気になる所が数点あったので説明を受け、どうしてもこのまま建設をすれば将来悔いを残すと思い、入札を延期した。議員 これは前年度からの繰り越し事業で、来年4月1日に開園できないと国庫補助約830万円を受けられない。開園できない場合は一般会計からの持ち出しか。それとも建築する業者に責任を取らせるのか。

それと公的施設を造る時は地元住民、隣接者に対し十分な説明と理解を得る事は基本中の基本と考える。

町長 3月中に完成する事をしっかりと守って進めて行きたい。完成できないと国庫補助830万円を受けられない事も十分に認識している。それと周辺住民と関係者の意見を聞く事は大切な事と思う。

真剣に早急に取り組み
中高一貫校対策

議員 対応が重要。町はもとより伊西地区の教育環境の充実に向け真剣に、早急に取り組むべきだ。

学校教育課長 少子化が根底にある。各小学校の成績上位の子ども達が進学しているの、中学校で学習指導の工夫が必要である。伊万里ももっと情報等を交換し、しっかりと取り組んでいく。

県立高校再編整備計画

	H20 (実績)	H22 (実績)	H25 (実績)	H31 (見込)	H33 (見込)	H34 (見込)
伊万里高校	6	6	5			
伊万里農林高校	3	3	3	10	9	9
伊万里商業高校	4	3	3			
伊万里地区学級数計	13	12	11	10	9	9

有田町内小学校(4校) 中学校(2校)

	H18	H24	増減
小学校児童数	1,388人	1,206人	-182人
学級数	47	45	-2
中学校生徒数	705人	599人	-106人
学級数	20	18	-2



梶原 貞則 議員

よりよい町創りのため、道徳教育の充実を

答 全体に波及させたい

400周年、福井昌平プロデューサーとの契約は

議員 「日本磁器誕生・有田焼創業400年事業実行委員会設置要綱」に、2条(目的)として、「実行委員会は有田町が日本磁器誕生・有田焼創業400年の節目を迎えるにあたり、肥前地区全体と協議しながら、有田町の歴史・伝統・文化の再認識と発信をおこなうとともに、創業400年を契機とした有田の将来の発展を図るため、その構想を策定し、その事業を行うことを目的とする」また、3条(事業)として「実行委員会は、前条の目的を達成するため、次の事業をおこなう。一、基本計画および事業実施計画の策定に関すること。二、上記計画に基づく事業の実施に関すること」。11条(理事会)として「第3条に定める事業を迅速かつ円滑に推進するため、実行委員会を置く」15条(議決)として



▲350周年記念事業で構想、設立された九州陶磁文化館

「会議の議決は、出席委員の過半数の同意を持って決する」とある。さる、3月28日に、実行委員会において、事業実行計画が決定され、記者発表が行われた。この計画を、町長は、「もっと住民参加型、一過性ではなく、町民の為に、また有田の産業再生の為に

なる事業に変更したい」とのことであるが、そのためには、理事会や、実行委員会と趣旨をしっかりと説明し、同意を得る必要があるのでないか。

の人命を奪った。この二ユーは世界中に配信され、津波の凄さ・恐ろしさに世界中が驚愕した。そのほかに電車やバスがストップした。パニックの町中でタクシー乗り場に秩序良く並び日本人の姿や、被災地で、食糧や水の配給にも規律正しく並び姿、被害にあった食料品店の食糧品等が盗まれたり略奪がないことも配信された。

議員 福井昌平プロデューサーは、総合プロデューサーとして、今後ともお願いしていくのか。

世界中が、この日本人の冷静さや規律正しさ、献身的なふるまいに、非常に感銘し、賞賛し、道徳心の高さに驚嘆した。これは日本人が長い歴史の中で、營々とつちかってきた道徳教育が根底にある。有田町での道徳教育の現状、そして今後の方向性はどうか。

町長 福井昌平プロデューサーとは、すでに契約しているもので、一緒にやっていきたい。

世界が、この日本人の冷静さや規律正しさ、献身的なふるまいに、非常に感銘し、賞賛し、道徳心の高さに驚嘆した。これは日本人が長い歴史の中で、營々とつちかってきた道徳教育が根底にある。有田町での道徳教育の現状、そして今後の方向性はどうか。

よりよい町創りのため 道徳教育の充実を

議員 2011年3月11日、東日本大震災、大津波は多くの町を飲み込み、多く

の人命を奪った。この二ユーは世界中に配信され、津波の凄さ・恐ろしさに世界中が驚愕した。そのほかに電車やバスがストップした。パニックの町中でタクシー乗り場に秩序良く並び日本人の姿や、被災地で、食糧や水の配給にも規律正しく並び姿、被害にあった食料品店の食糧品等が盗まれたり略奪がないことも配信された。

多くの町を飲み込み、多くの町も行われている。

議員 有田町全体で道徳教育推進地域としての指定を受け、道徳教育がさらにアップした町にしてはどうか。おもてなし、あいさつ、マナー、しつけなど、学力以外でも、こういう特色ある学校創りがある。中高一貫校への生徒の流失を止め、おもてなし、道徳力の高い地域創りによって、人口増、観光客の増加が図れるものではないか。よりよい町創りのため、道徳教育の充実を切望する。

学校教育課長 平成28年度に町内の小中学校1校ずつが、道徳教育研究会の会場校として指定される予定なので、全体に波及させたいと考えている。

- ◆住民と行政の協働
- ◆子育て支援の充実

「全体感にたつ町づくり」構想は

答 地域の特性・歴史を活かし、進めたい



蒲原 多三男 議員

学校給食の アレルギー対策

議員 平成24年に東京・調布市の小学生が食物アレルギーによる、アナフィラキシーショックの疑いで亡くなった。文部科学省が食物アレルギー対策の有識者会議で、今年3月に取りまとめた最終報告書にて、平成20年に発行された「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」に基づき対応の徹底が求められているが、学校の取り組みは。

学校教育課長 食物アレルギー対応基本方針を作成し、各学校へ対応をしている。

議員 食物アレルギーの小中高生が33万人(9年前から45万4000人(昨年に増加、平成24年は誤って原因食物を口にしたりケースが40件。学校給食によるアナフィラキシーを経験した子どもは5万人弱、自己注射薬・エピペンを

持つ子どもは2万7000人。校内でエピペンを使用した例は408件。管理職や教員を含め組織的な対応が不十分と指摘。更に自治体に対しても、調理場設備や人員配置、関係機関との連携を求めているが、

学校教育課長 校長が保護者に面談し調査表をもらい、個人に依じた食物の提供を行っている。新入生は、2月の入学説明会で調査表にて個別に事故のない体制づくりを図っている。栄養教諭も一人増やしている。

町長 食育と共に、食物アレルギー対策もしっかりやっていき、健やかな成長を見守る。

熱中症対策

議員 熱中症対策として、小・中学の62普通教室すべてに4機の扇風機を設置。教育環境の改善と思う。日常の学校生活の中の対策は。

学校教育課長 朝の子ども健康観察を第一に。水泳時の体温測定、休み時間の換気、外での帽子着用、水筒を身近に置くことをしている。

議員 課外授業やクラブ活動、体育の時などはある一定の高温・外気温度においての行動基準はあるか。

学校教育課長 現在は基準としてはない。

「子ども子育て支援制度」本格実施にむけて

議員 子ども子育て支援会議の開催状況と内容は。

住民課長 昨年12月に第一回目を開催、今年に2回目。あと検討部会を一度。ニーズアンケートでは意見・悩み・困りごとなど幅広くある。

議員 父兄の勤務も多様で、夜8時迄の延長保育や風邪に限った病児保育を希望する声があがっているが。

住民課長 町としては聞

いてないが検討する。

町づくり構想



▲町並みが整備された彦根城下

り、地元の声を反映した町づくりを目指す。

議員 地域を想定せず、全体感での町民総意でもいっべき、「町づくり憲法」構想に着手の時では。

町長 地域の特性、歴史を活かす町民協働の町づくりを目指す。駅前通りも有田のよい面を表現したい。

防災・減災への取り組み

議員 町内の小・中学校の耐震化工事は。

学校教育課長 有田小を除くとほぼ100%になる。

議員 橋梁や道路整備の現況は。

建設課長 町管理の281橋を計画的に点検し、補修工事をする。道路は、国道の原明地区を今年度、蔵宿地区の歩道整備を来年度から取り組む。

議員 6月1日付で、「まちづくり課」が発足したが業務内容は。

総務課長 従来の企画課の業務に加え行財政改革の見直しと、町づくり全体の視点を踏まえ「まちづくり課」を設置した。

町長 住む人の利便性、デザインを考慮して、有田を訪れる人の感動があ

一般質問を傍聴して

伊良皆尚子・田中 萬里

4月の町長、議員選挙後の初議会ということで気を引き締めて傍聴させていただきました。

6月9日の初日は新町長の所信表明があり記者の方も普段より多く、静かな緊張感を覚えました。山口町長は原稿を読むことはなく、有田が抱えている課題を分析され、その思いを非常に分かりやすい言葉で説明されました。町長が述べられた『町民が主役の世界一素晴らしい町作り』に関しては、有権者である町民の積極的な関心と参加が最も必要と感じました。

また議員の方の質問にも、これから4年間の任期にどれ程の意気込みで臨んでおられるのかを知ることにより深い興味を感じました。

議員の質問では有田焼創業400年事業のあり方、地域産業（窯業と農林業）の振興、少子・高齢化対策（教育、福祉）、観光の構想（空家・空店舗・過疎等対策）など、町民も深刻に感じている共通課題とありました。そしてこれらの重要課題は、町

民みんなの力で解決していけると強く感じました。

またテレビでは映りませんでした。が、数名の議員さんの姿勢はとも不愉快でした。椅子をガタガタ回している人、ふんぞり返って座っている人、我々が代表として選んだ議員さんのこの様な態度は、いま問題とされている東京都議の暴言、兵庫県議の意味不明号泣等と同じくらい、議員の資質が問われる、許されない、残念な光景でした。

町長は『今の延長線上に有田はない』と言われました。町、議会、町民と立場は違っても一丸となるチャンスを強く感じました。執行部、議員の方々には、次世代の子供たちに繋げる改革、計画、方針を明確にし、町民の声が届く場所、機会を作って頂くことを希望します。

この町の子供たちの笑い声が絶えない、世界一の町になる事の努力を切にお願致します。執行部、議員の方々には健康に留意され、今後の益々の活躍を期待いたします。

議長あいさつ

松尾文則

4月の選挙において3人の新人、元職2人の議員さんが新たに加わり、6月議会では15人が一般質問に立つと言つ「やる気満々」の新議会がスタートしました。

本来の議員職責である住民福祉の向上・弱者対策はもちろんとして、2016年に迫った有田焼創業400年事業の成功を目標に、また、基幹産業である陶磁器産業の再生・農業振興等のために議員が一つになつて取り組み環境づくりに努力したいと思ひます。

各種団体との会議、タウンミーティングの開催など、できる事からの議会改革を進めて参ります。

元氣な有田を取り戻す議会活動にご協力をお願いいたします。

■ 議長交際費支出状況 (平成26年4月～6月)

項目	件数	支出額(円)	備考
会費	1	10,000	行政懇談会
雑費	3	8,776	西有田商工振興会総会ほか 2件
合計	4	18,776	



議会だよりに掲載している議員の一般質問の文責は各議員にあります。

あ と が き

四月の選挙を経て有田町議会も新体制となった。それぞれの1期4年の任期が始まった。

選挙戦を通じ多くの町民の皆様が議会に期待していると感じました。

この4年の間には、まさに百年に一度の機会、有田焼創業400年を迎える。東も西も無く、窯業ばかりでなく色々な職も、老若男女みんなで作っている事業である。

今議会の一一般質問でも熱い論戦が交わされた。町民の皆様の声を、議会で伝えていくことが議員の使命である。

そしてこの「議会だより」には議会活動を皆様に伝えていく使命がある。より伝わる誌面となるよう編集委員一丸となって仕上げたい。(佳昭)

議会広報編集委員

委員長 松尾 佳昭
副委員長 原田 一宏
委員 立部 正則
委員 手塚 英樹
委員 福島 日人
委員 久保田 均